

一 経過

(1) 事業主側

態度強硬ニシテ爭議ニ参加セザル職工ノミニテ作業ヲ継続シ罷業職工ヨリ會見ヲ求ムルモ拒絶シ居レリ

(2) 労働者側

事業主か會見ヲ拒否セル為メ困惑ニ関東自由労働者組合、関東金属労働組合（何レモ協議會系）ノ應援ヲ求メ本月二十一日工場附近所在空家ヲ借受テ演說會ヲ開催シタルカ聴衆七十名ニシテ関東自由労働者、関東金属、福島、外四名ノ演說アリタルモ亂勢昂ラシテ散會セリ
右及申（通）報候也

労務才一四三九第

昭和四年八月三日



本社總監 丸山鶴吉

内務大臣 安達謙藏殿
社 會 局 長 官 殿

大阪 神奈川 各府縣知事殿

柴崎製作所労働爭議ニ関スル件 才四報ニ解決

要旨ニ數回折衝ノ結果要求ノ一部ヲ容レ八月一日解決ス

標記工場ノ労働爭議ニ就テハ既報ノ通りナルカ其後折衝ノ結果解決シタルカ狀況左記ノ通りニ有之

記

14.86
665